



遊びにいこう!ワクワクお出かけは元気の源♪

~外出に課題があるみなさんのお出かけを考える~

「お出かけ」「遠足」「旅行」、この言葉を聞くと私はワクワクが止まりません。この言葉たちが大好きです。

三重県済生会明和病院なでしこの別所と申します。児童指導員として勤務しており、利用者さんの外出支援を業務の一つとしています。楽しいお出かけは、普段とは違う利用者さんの表情に出会うことができ、みんなにとってすごく楽しみな行事の一つなんだなあ…と日々感じています。ショッピングモールや大きな公園、感染症対策が緩和された今年度からは水族館にも出かけました。(秋には動物園にもいきたいなあ…)とっても楽しいお出かけですが、重症心身障がいのあるなでしこのみなさんには課題も多々あります。医療度の高さからくる移動時の課題やお出かけ先のバリアフリーの対応などが課題として挙げられます。これらの課題と向き合って、楽しい外出の機会を実現することが、なでしこ職員としての使命だなと感

じます。そんな中、ある一つの記事に出会いました。

「外出を 家族を 支える」

買い出し、そのまま外食を楽しむ。危険な飛び出しや暴力行為などが著しい「強度行動障害」の子がいる場合、それらは決して簡単ではない。こうした人々を外出先で介助することに特化した盛岡市の事業所「びすけっと」が設立から1年たち、存在感を高めている。さまざまな事態が想定される高度な支援には専門のノウハウが必要となる中、円滑に利用者をサポートできるよう人材育成にも力を入れ、家族のよりどころとなっている。

びすけっとに出会い「生活はがらっと変わった」と愛子さん。週2回利用し「散歩すらできないのが『当たり前』だったが、『できないことはないのでは』と思えた。本人の笑顔も増えた」と振り返る。

(『福祉ニュース 障害福祉編 2024年4号 岩手日報・朝刊』より一部抜粋)

盛岡市の行動援護サービスを実施している事業所「びすけっと」さんが取り上げられた記事です。対象とする利用者さんは違いますが、なでしこにも通ずるものがあると感じました。利用者さんの行きたい気持ちを実現させていくという点において、我々の外出支援も学べることが多くあると思います。特別な体験ができるのがお出かけの日。それと同時に、お出かけを楽しむことは「当たり前」の日常です!という視点も持ちながら、これからの支援に臨めたらなあと思います。これからもたくさん思い出を作っていく!

(児童指導員:別所)



看護師・介護士急募!!

詳細は、QRコードから済生会明和病院のホームページの採用情報をご覧ください。
一緒に働く仲間をお待ちしております。



ご寄付をお願いいたします

当施設では、皆様からのご寄付を受け付けております。施設に賜りましたご寄付は当施設の利用者さんの日常生活がより充実したものになるよう職員一同大切に活用させていただきます。多くの皆様からのご支援を心よりお願い申し上げます。

※なでしこ通信の発行は3ヶ月に1回となります。※本誌に記入されている写真是本人または、家族の了承を得て使用しています。

なでしこ通信



三重県済生会明和病院 なでしこ 〒515-0312 三重県多気郡明和町大字上野435

TEL・FAX: 0596-53-0010 Eメール: nadeshiko@meiwa-saiseikai.jp

※重症心身障害児(者)に特化しているため旧名称を記載しております

令和6年7月10日発行

vol.190

はじめまして

奥村 陽介 先生



この4月から「なでしこ」に三重大学医学部附属病院小児科から応援に来させていただくことになりました奥村陽介と申します。県内の各総合病院の小児科病棟及び新生児集中治療室で研修させて頂いたのち、現在は三重大学の大学院生として医学研究の勉強中です。

月数回の「なでしこ」での勤務になりますが、入所・通所の利用者様はもちろん、そのご家族やご関係の皆様方に対して、少しでも日々の生活のお手伝いが

できるよう精進して参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

なでしこに見えられていた岩本先生や岡村先生には、私はこれまでにたくさんご指導頂いて参りました。お二人のような熱意に溢れた、思いやりのある小児科医に少しでも近づけるように、山川先生の元でたくさん勉強していきたいと思います。

(小児科医師: 奥村陽介)

高祖 憲先生



はじめまして。2024年4月から非常勤医師として着任いたしました三重大学医学部附属病院 小児科の高祖憲(こうそあつし)と申します。県内の小児科関連施設で勤務し、現在は医師7年目になり、三重大学医学部附属病院の小児血液腫瘍学チームで研究をしております。

なでしこを利用される皆様が笑顔で明るくされ、また、スタッフの皆様が熱心で温かい支援をされている雰囲気がとても素敵だと感じております。

至らない点が多いかとは思いますが、なでしこを利用される患者様、ご家族の皆様に少しでも貢献できるような医療を提供できるように努めてまいりたいと思います。

病院関係者の皆様、ご家族の皆様、今後ともご指導ご鞭撻のほどどうぞ宜しくお願い申し上げます。

(小児科医師: 高祖憲)





今年も楽しい思い出つくろう! ～伊勢シーパラダイス、イオンモール明和～

今年度も外出支援が始まり、
4月～6月は伊勢シーパラダイス、イオンモール明和に行ってきました!
久しぶりの水族館やお買い物にみなさんワクワクです。
今年も楽しい思い出をみんなで作りましょう♪

(児童指導員：別所)



.....縁の下の力持ち..... ～スポットワーカーさん～

現在済生会明和病院では人員不足という問題が発生しています。なでしこでもその問題に直面しており、利用者の方々とゆっくり関わる時間の確保が難しい現状がありました。そこで明和病院では人材確保チームが結成され、チームの活躍によりスポットワーカーを募集するようにな

りました。スポットワーカーとは忙しい時間帯に来てもらい、保清業務や洗い物、環境整備業務や物品の補充などをもらう人たちです。直接利用者の方に関わる事は無いのですが、スポットワーカーの活躍により、現場の職員が利用者の方々と関わる時間が増えてきました。

(介護士主任：川口)



.....通所.....端午の節句 ～職員の写真で神経衰弱～



なでしこ通所では、5月2日(木)に端午の節句の行事を行いました。行事内容は神経衰弱。事前に創作活動で神経衰弱で使用するこいのぼりを作成しました。花紙をちぎったり、いろいろな色を重ねてカラフルなこいのぼりにしたり、利用者さん一人一人の発想で個性豊かなこいのぼりが完成しました。

神経衰弱では、みんなで作っ



たこいのぼりの裏に職員の幼少期や若い時の写真を貼り付けて使用しました。そして利用者さんはそれぞれの表現の仕方でカードを選びながら参加してくれました。

利用者さんの中には、同じ写真が揃わなくてもその写真を見

て、誰の写真なのか当てることを楽しみにしてくれる方もおり、笑顔があふれる端午の節句の行事となりました。

(通所保育士：奥野)